

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表： 年 月 日

事業所名 だいじ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		・子ども同士の相性や本人の好きな活動を考慮して入れている。	今後お子様の人数の変化があるが、適切になるように努めます。
	2 職員の配置数は適切である	1	4		・マンツーマン対応が必要なお子様や状況が多いため、職員の休みは取りにくい。小集団対応の知識・技能を向上させていきます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	2	3		・家庭と同じ大人サイズの便器ですが、まだ上手に誘導・指導できないこともあります。環境改善や技能の向上に努めます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5			・清掃、環境設定に努めています。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	3	2		・全員が集合する時間が取れず、職員全員での情報共有が難しいので、工夫が必要です。 ・情報共有を計り、職員全員で納得して改善していくように努めます。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている		5		・開設年度のためこれから取り組みます。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している		5		・開設年度のためこれから取り組みます。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		5		・開設年度のためこれから取り組みます。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5			・研修の機会はあったが、まだまだ知識・経験不足解消のため、より積極的に取り組みます。 ・専門家への相談も随時受けられるように検討します。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	3	2		・さらに研鑽を積み、知識・経験を補っていきます。 ・観察・面談等を行って計画を作成しています。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		5		・今後、公認心理師や作業療法士と協力して、標準化されたアセスメントツールを用いていきたいです。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5			更なる向上に努めます。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5			更なる向上に努めます。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	5			・スケジュールの振り返りをしていますが、活動内容についても向上していくように努めます。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	2		・お子様の調子をみてスケジュールを作成しています。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	2	3		・計画されたが、お子様の様子から実施が難しい場合があったため、改善に努めます。 ・時間や年齢に合わせて、小集団活動を行っています。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している		5		・時間が合わず、全員揃っての打ち合わせはできていませんが、細かく情報交換はしています。 ・打ち合わせ時間の確保に努めます。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		5		・時間が合わず、全員揃っての打ち合わせはできていませんが、細かく情報交換はしています。 ・打ち合わせ時間の確保に努めます。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5			記録内容の改善にも努めます。
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5			更に内容が充実するように努めます。
21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している		1	4		・児発管だけでなく、普段接しているスタッフも同席することもあります。仕事量的に難しい状況です。 ・改善に努めます。
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		5		・児発管は連携していますが、情報共有が不足のため、現場のスタッフの立場からみると、できていない不明なところがあるので、改善に努めます。
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		5		・対象児なし

関係機関や保護者との連携	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		5		・対象児なし
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	3		・送迎時必要な情報共有はしますが、あまり時間がとれないため、更なる機会を持てるように努めます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5			・必要に応じて行っています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	4		・間接的に助言は受けたりしますが、現場のスタッフが直接相談する機会を増やすよう努めます。 ・他の発達支援事業所との交流や情報交換をしていますが、専門家の指導との齟齬を整理するよう努めます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		5		事業所としての交流は難しいので、在籍する園での生活が充実するように支援します。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		5		・新型コロナウイルス感染防止のため中止となり機会がありませんでした。今後も情勢を見ていきます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5			・お便り帳や、送迎時にしています。また、適宜電話や面談でのお話をしています。
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		5		・研修受講にとどまっているので、今後の改題として取り組んでいきます。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	2	3		・児発管が行っていますが、職員への周知が不足だったため、改善を図ります。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5			・毎日のお便り帳や、送迎時に行っていますが、更に努力します。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		5		・のぞみカフェ(同一法人主催保護者茶話会)への連携・支援を図ります。 ・事業所利用者の保護者会を開催していくように努めます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5			・改善するように努めます。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	2	3		・会報と毎月の利用カレンダーを発行していますが、内容を充実させるように努めます。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	5			・十分に注意するとともに、保護者へも周知を図ります。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5			・一層の努力をします。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		5		・新型コロナウイルス感染防止のため、機械がありませんでした。今後取り組んでいきたいです。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している		5		・マニュアルはあるが保護者周知はしていませんでしたので、改善します。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5			・引き続き訓練実施に努めます。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5			・今後も健康確認に留意します。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	1		・該当児なし
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		5		・行動の記録として対応の改善を検討しましたが、ヒヤリハットとしても認識するように意識します。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	2		・ガイドライン読み合わせ等を行っています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		5		・対象となるお子様がいなかったため実施していませんでしたが、今後、取り組んでいきます。